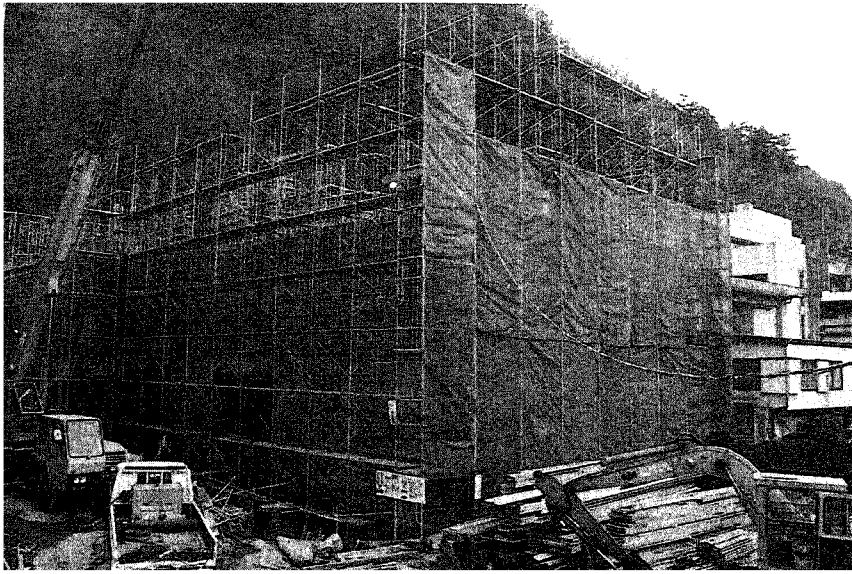


ふるさと会館

近年「もの」から「心の豊かさ」へと市民のニーズも変化してきており、趣味の合った人達のサークルは年々増加し、その活動も活発化してまいりました。また、市民の芸術への感心も高まってまいりました。こうした多様なニーズに応えるとともに、地場産業の育成と振興を図ることを目的に、今春ふるさと会館を開館いたします。

施設の内容は、一階は地場産業振興のフロアとして、地場産品展示ホール、二階は美術的なフロアとして増田画伯コーナーを含むアートホール、また、この階から通じる南側に名誉市民である増田画伯を顕彰するための記念碑を建立いたします。三階は生涯学習フロアとして活用するための研修室などとなっております。



今春オープンするふるさと会館

また、ふるさと会館と一体として建設された県立富士女性センターには、工芸・美術室、調理実習室、視聴覚・音楽室、茶・華道室、レクレーション室、大会議室及び、託児室が設けられておりますので相互に機能を補完すると同時に文化会館と連携するなかでサークル活動、コミュニケーション活動、生涯学習の拠点として利用いただけるものと思っております。

生活環境の整備

自然溢れる本市は豊富な水に恵まれ、他市には見られない大きな恩恵を受けております。しかし、その水の供給につきましては二十世紀を見直し、計画的に設備投資の中で、より質の高い水道施設整備を図ってまいらなければなりません。

上水道におきましては、昨年、配水池を建設し安定供給を図りましたが、本年は新水源の確保等を重点施策として進めてまいります。

また、簡易水道につきましても、昨年、桂町簡易水道給水区の水源地を確保し、取水・配水施設を整備いたしました。本年は、東部簡易水道の新水源施設を確保するなど、各施設の整備を積極的に図ってまいります。

また、このような施設整備と並行して、水道事業の経営基盤を確立するため、上水道と簡易水道の

統合整備を推進してまいります。

環境衛生につきましては、河川の汚濁を防止するため、家中川流域浄化対策事業、合併処理浄化槽設置費補助事業を実施してまいります。さらに、河川浄化の根幹であります下水道整備につきましても、二市一町で構成する桂川流域下水道推進準備会を発足させ、実現に向けて活動を始めたところであります。

今後、恵まれた自然環境を大切に、豊富な水量の確保と清冽な水質を保全するため、諸施策を推進してまいります。

また、増加の一途をたどるゴミ問題につきましても、資源の再利用を計るべく、まず庁内から分別収集の運動を展開しております。限りある資源を守り「ゴミを出さない増やさない運動」の啓蒙に努めてまいります。

住民福祉

高齢化社会の進展に伴い、ねたきり、痴呆症、ひとりぐらしの老人が増えてきております。こうした中でこれからの福祉は、援護を必要とする方が住みなれた家庭や地域で、他の人々と充実した生活を送ることができる土壌づくりが

肝要であります。

本市では、いち早くひとりぐらし老人の介助協力者組織を設け、関係者の協力をいただいておりますが、これからはこの組織を一層拡充するとともに、ねたきり老人、障害者、母子、父子、老人世帯等



リハビリに励む老人保健施設の入所者

の支援を要する人々を地域ぐるみで支えていくふれあい福祉システムを一層推進してまいります。また、家庭における介護には他に代えることのできない長所がありますが、長い介護が続くうちに自然と無理が重なり、また介護を受ける側も、安心して委ねることができない状況が生じることもしばしば見受けられております。介護を受ける人と、介護する家族との間の良好な人間関係を保つためにも、お互い「無理を重ねる家族だけの介護」から、「サービスを適切に活用する家族介護」へ意識の転換を図ることも、これから益々必要になって来ると思われまます。こうした社会情勢の変化に対応すべく、昨年、老人保健施設を開